



# VISA

京都市  
ビザ・ワールドワイド  
2015年12月1日

NEWS RELEASE

## 京都市と Visa が「地域活性化包括連携協定」を締結 ～相互連携を通じて地域経済のさらなる発展へ～

京都市(市長:門川 大作)とビザ・ワールドワイド(以下 Visa、代表取締役:ジェームス・ディクソン、所在地:東京都千代田区)は、本日12月1日(火)京都市役所において、「地域活性化包括連携協定」を締結いたしました。今回の締結は、京都市と Visa の相互連携の強化により、外国人観光客の受け入れ環境整備を図るとともに、外国人観光客によりお買い物やお食事を楽しんでもらうことによって、京都市の地域の活性化に貢献することを主な目的としています。

京都市と Visa は今回の「地域活性化包括連携協定」のもと、3つのことに取り組みます。カードの決済環境の明示するため京都用のアクセプタンスマークの開発、配布、外国人観光客向けの消費喚起キャンペーンとして、KYOTO x Visa Campaign の展開、京都レストランウィンタースペシャルの外国人観光客向けの告知をいたします。

京都市の外国人宿泊者数は、平成26年度に過去最高の約183万人(前年比約62%増)を記録しています。また、世界で最も影響力のある、米国旅行雑誌のワールドベストシティランキングにおいて2年連続世界1位にランクインされるなど、世界中から魅力ある観光地として支持されています。こうした環境の中、京都市は受け入れ環境整備には力を入れており、お買物をより楽しんでもらうという視点においても、事業者向けにきめ細やかな支援事業を実施したことにより、市内の免税店数は平成27年に715件(前年比約4倍)となるなど着実に増加しています。

Visa は外国人観光客の方々に安心・安全なペイメントインフラを提供すると同時に、インバウンド取り組みの環境として、カード(クレジットカード、デビットカード、プリペイドカードなど)が利用できることを示す「アクセプタンスマーク」の店頭掲示の推進を行うことで、外国人によりお買物を楽しんでもらえる環境整備すると共に、地域経済の振興への貢献を目指しています。

2020年までに、2,000万人という目標の前倒し達成も視野に入り、政府はより高い目標設定の検討を始め、今後も京都により多くの外国人観光客が訪れることが予想されます。京都市と Visa はこれからも外国人観光客の受け入れ環境整備に尽力し、地域経済の発展に貢献していくことを目指します。

### 本件に関するお問い合わせ先

京都市産業観光局観光 MICE 推進室 寺田 敏隆、長澤 理恵 Tel:075-746-2255  
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 水上 大嗣、番匠 宏明 Tel:075-212-4145

ビザ・ワールドワイド 広報担当:濱田 昌子 Tel:03-3210-1650  
広報代理店 (株)イニシャル 担当:真崎 理奈、松土 寛幸 Tel:03-6672-6051 Mail:visa@vectorinc.co.jp

【別紙 1】

## 京都市とビザ・ワールドワイド・ジャパンとの 地域活性化包括連携協定書

京都市（以下「甲」という。）とビザ・ワールドワイド・ジャパン（又はその関連会社を含むものとし、以下「乙」という。）は、相互の連携を強化し、京都市の地域活性化の一層の促進を図るため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が相互に連携・協力を深め、観光の振興、地域経済の活性化を図り、京都市の地域活性化に資することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲と乙は、前条の目的を実現するため、以下に掲げる協力内容に取り組むものとする。具体的な事業実施の内容及び時期等については、甲乙協議のうえ別途定めるものとする。

- （1）外国人観光客の観光消費拡大に関すること
- （2）外国人観光客に対する買い物環境の整備に関すること
- （3）京都ブランドの発信など、観光振興に関すること
- （4）外国人観光客への伝統産業の振興に関すること
- （5）その他、地域活性化の促進に関すること

（協定内容の変更）

第3条 甲又は乙のいずれかが、協定内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（期間）

第4条 本協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、本協定の有効期間が満了する1箇月前までに、甲又は乙が書面により特段の申し出を行わないときは、有効期間が満了する日から1年間この協定は更新され、その後も同様とする。

（その他）

第5条 本協定に定めのない事項又は本協定に関して疑義が生じたときは、甲乙協議の上、これを定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名のうえ、双方各1通保有する。

平成27年12月1日

甲：京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地  
京都市長

乙：東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング24F  
ビザ・ワールドワイド・ジャパン 代表取締役

【別紙 2】

1. 京都用のアクセプタンスマークの開発、配布

- 実施内容: 京都の施設を対象にアンケートを実施し、その結果を反映した京都オリジナルのアクセプタンスマークを作成し、京都市内の店舗に配布予定。



2. 外国人観光客向けの消費喚起キャンペーンの実施

- キャンペーン名称: KYOTO x Visa Campaign
- 期 間: 2016年2月1日(月)~29日(月)
- 実施内容: 京都市内免税店と、京都レストランウィンタースペシャルに参加する店舗を中心に、3,000円以上購入された方対象に Web 抽選カードを配布。対象者がキャンペーンサイトで応募し、後日当選者に京都の伝統産業品(1万円相当)を抽選で100名に配送。



3. 京都レストランウィンタースペシャルの海外への告知

- 期 間: 2016年2月1日(月)~29日(月)
- 実施内容: 本年より英語版のパンフレットも用意して、訪日外国人にも案内を開始。Visa は 5 言語(英語、簡体字、繁体字、韓国・朝鮮語、タイ語)対応のホームページや、海外オフィスを通じて海外プロモーションに協力。

## ビザ・ワールドワイドについて

ビザ・ワールドワイド(以下、Visa)は、世界規模のペイメントテクノロジーを提供する企業です。世界の 200 以上の国と地域において、迅速、安全かつ信頼のおける電子決済で消費者、企業、金融機関、政府機関を結ぶ役割を果たしています。毎秒 65,000 件を超す取引を処理できる VisaNet は世界でも最先端の情報処理ネットワークで、電子通貨の基盤であると同時に、消費者を詐欺や不正行為から守り、加盟店への確実な支払いを可能にしています。Visa の事業の特色として、カード発行、融資、会費や利息の設定を消費者に直接行わないことが挙げられます。Visa は取引先金融機関を通じて、デビットカードによる即時決済、プリペイドカードによる事前決済、クレジットカードによる事後決済といった多彩な選択肢を提供しています。詳しくは [www.corporate.visa.com](http://www.corporate.visa.com) (英語サイト) または [www.visa.co.jp](http://www.visa.co.jp) (日本語サイト) をご覧ください。